



予防接種について

予防接種は、各種の感染症に対して免疫を持っていない人、より強い免疫を期待する人に対して行われるもので、感染予防、発病予防、重症化予防、感染症の蔓延^{まんえん}予防を目的としています。



予防接種には、

- ・定期接種（原則無料）…BCG，ポリオ，三種（二種）混合，麻疹風疹，日本脳炎
- ・任意接種（助成のあるもの）…小児用肺炎球菌，H i b^{ヒブ}，HPV（子宮頸がん予防）等
- ・任意接種（助成のないもの）…水ぼうそう，おたふくかぜ等があります。

子どもの場合、母親からの抗体が減ってくる時期、^{かか}罹りやすい年齢などを考慮し、指針に示された標準的な接種時期の中で、できるだけ早期に接種をする必要があります。



定期予防接種

 : 接種可能な年齢(法定接種対象年齢)
(接種可能な年齢内での接種は無料です。)

 : 望ましい接種年齢
()内は標準的な接種期間

ワクチン名	出生後	3か月	6か月	9か月	1歳	1歳半	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
BCG			①																
ポリオ			① → ②	41日以上の間隔を置いて2回															
三種混合(DPT) ジフテリア(D) 百日咳(P) 破傷風(T) 二種混合(DT)			1期初回 ① → ② → ③ 20日～56日までの間隔で3回		1期追加 ④ 初回接種終了後6か月以上後 (12～18か月後)1回												2期 ① 二種混合で1回		
麻疹風しん混合					1期 ①						2期 ②		5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間の児 [保育所・幼稚園では年長児]						
麻疹 風しん	(注)原則として、麻疹風しん混合(MR)ワクチンを接種。 同じ期内で麻疹ワクチン、風しんワクチンのいずれか一方を受けた者、および麻疹、風しんのいずれか一方にかかったことのある者、あるいは特に単独ワクチンの接種を希望する者は単独ワクチンを接種することもできます。																		
日本脳炎						1期初回 + 1期追加 ① → ② ③ 6日～28日間隔で 2回(3歳)					初回終了後およそ 1年後(4歳)			2期 ④ (9歳)					

★ 予防接種のスケジュールは、かかりつけ医に相談して決めましょう。

予防接種を受ける際は、病気にかかった場合の症状・合併症、ワクチンの有効性、ワクチンの副反応などについて、かかりつけ医とよく相談し、接種を受けましょう。



以下に、ワクチン対象の病気にかかった場合の症状・合併症の頻度と、ワクチン副反応の頻度を示します。予防接種をするか否か判断する際に、参考にしてください。

ワクチン・疾患名	病気にかかった場合の症状・合併症	ワクチンの副反応	
ポリオ	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者の 1,000～2,000 人に 1 人に麻痺 一部は永久麻痺 	<ul style="list-style-type: none"> ・下痢：3～5% 発熱：1～2% ・弛緩性麻痺：486 万回に 1 人 ・水平感染：789 万回に 1 人 	
三種混合	ジフテリア	<ul style="list-style-type: none"> ・局所の腫脹（はれ） 1 回目：11.6% 追加）：39.2% ・発熱：0.5～1% 	
	百日咳		<ul style="list-style-type: none"> ・心筋障害による突然死
	破傷風		<ul style="list-style-type: none"> ・2 か月続く咳 ・乳児は無呼吸発作・けいれん、脳症 ・顔面筋・躯幹筋のけいれん
MRワクチン	麻疹	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱：4～12% ・局所の腫脹（はれ）：1～2% ・熱性けいれん：300 人に 1 人 ・脳炎・脳症：100 万人に 1 人 	
	風疹		<ul style="list-style-type: none"> ・血小板減少性紫斑病：3,000 人に 1 人 ・脳炎：6,000 人に 1 人 ・先天性風疹症候群
日本脳炎	<ul style="list-style-type: none"> ・脳炎：感染者 100～1,000 人に 1 人 ・死亡率 20～40%，残りの半数に神経学的後遺症 	<ul style="list-style-type: none"> ・急性散在性脳脊髄炎（ADEM）発症について，“新”ワクチンにおいては、有意な発症は認めていない 	
肺炎球菌	<ul style="list-style-type: none"> ・化膿性髄膜炎：年間 150 人 ・死亡例や後遺症例：21% ・他に肺炎，敗血症 	<ul style="list-style-type: none"> ・局所の発赤（赤くなる）：70～80% ・局所の腫脹（はれ）：60～70% 	
ヒブ (インフルエンザ菌 b 型)	<ul style="list-style-type: none"> ・化膿性髄膜炎：年間 400 人が発症，11%が予後不良 ・乳児の肺炎，敗血症 	<ul style="list-style-type: none"> ・局所の発赤（赤くなる）：42% ・局所の腫脹（はれ）：10～20% ・局所の硬結（硬くなる）：13～20% ・発熱：1～4% 	
	* ヒブ・三種混合との同時接種で、数例の接種後死亡報告があったが、因果関係はないと報告されている。		
水ぼうそう	<ul style="list-style-type: none"> ・年間 4,000 人が重症化又は合併症のため入院 ・死亡：10 数名 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱：2% ・重篤な副反応はない 	
おたふくかぜ	<ul style="list-style-type: none"> ・無菌性髄膜炎：1.24% ・感音性難聴：0.1% 	<ul style="list-style-type: none"> ・無菌性髄膜炎：0.04% ・血小板減少性紫斑病：接種 100 万人に 1 人 	

ほけんだよりは、呉市のホームページでもご覧になることができます。

URL <http://www.city.kure.lg.jp/~kodosise/hoken.html>